

春の日のできごと

作. ぶくいけ けいこ

春の日のきごと



作.ふ.く.い.け.け.い.



春の日  
あひるの母さんが  
たまごをふたつ  
うんだよ。





あひるの母は  
かわいたまごを  
木林のともだちに  
見せにでかけたよ。



あ

春風がふいて  
あひるのせう  
とくもごきげん  
るんるんるん  
るんるん  
るん



どつしやう  
どつしやう  
わたしの  
たいじな  
たまごちゃん

あつた!!  
どつしやう  
どつしやう  
どつしやう

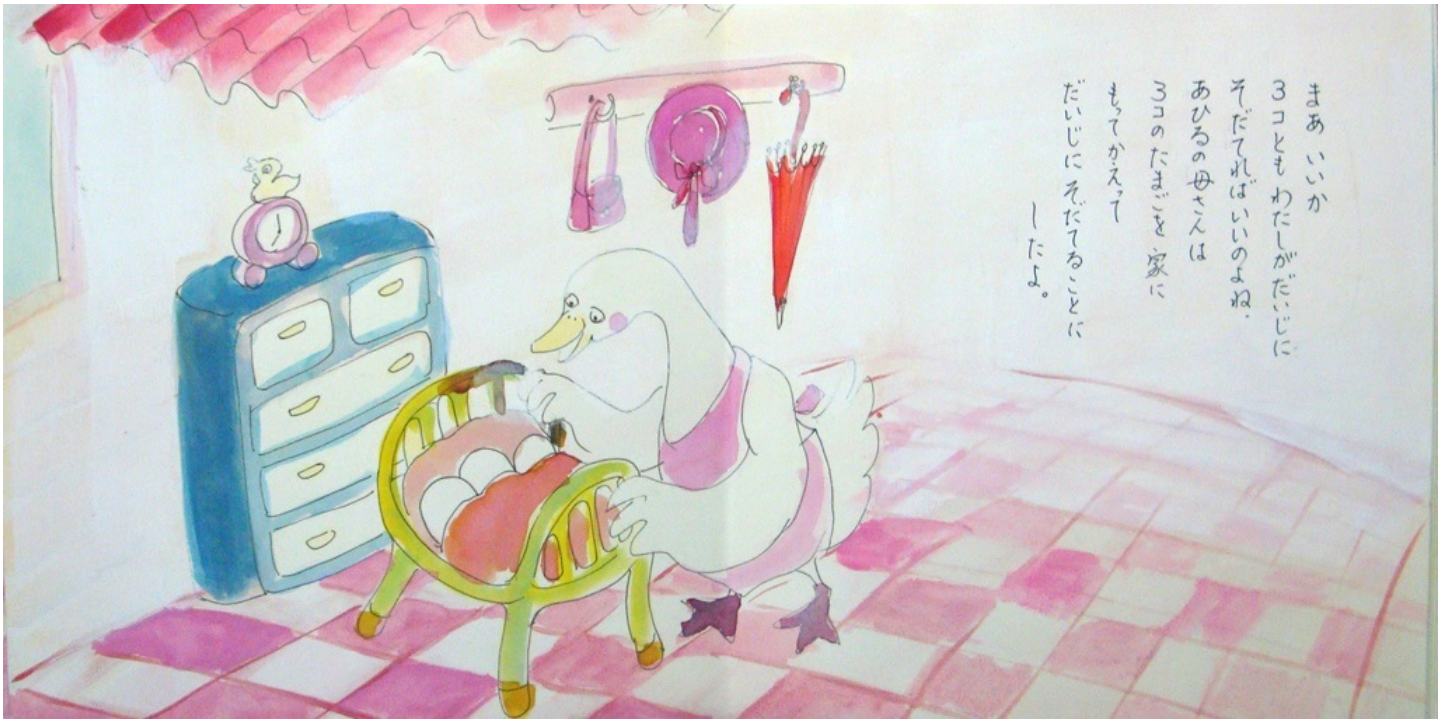


あれれ…  
ここにも  
もういっこ？



どれが  
わたしの  
たまごかなあ





まあいいか  
ココもわたしが大いじじに  
そだてればいいのよね。  
あひるの母さんは  
ココのたまごを家に  
もってかえって  
だいじにそだてることに  
したよ。



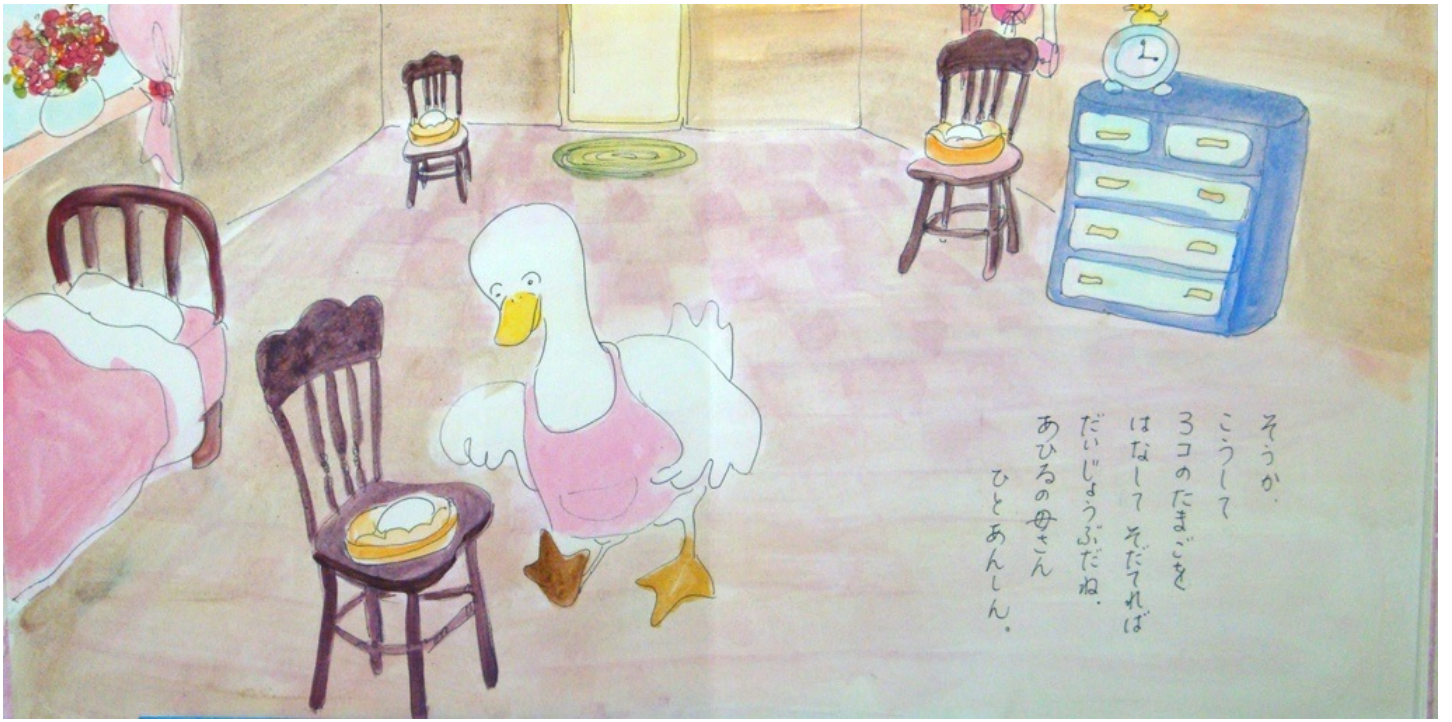






つぎの朝、  
あひるの母さんは大いそぎ、  
森のとむだちにゆめの話を  
きいてもらったよ。  
私のたまごがたべられてしまう。  
どうしよう？  
カラスのカンタくんが  
とて面白いことを  
おしえてくれたよ。





そっか。  
こっして  
ココのたまごを  
はなしてそだてれば  
だいじょうぶだね。  
あひるの母さん  
ひとあんしん。

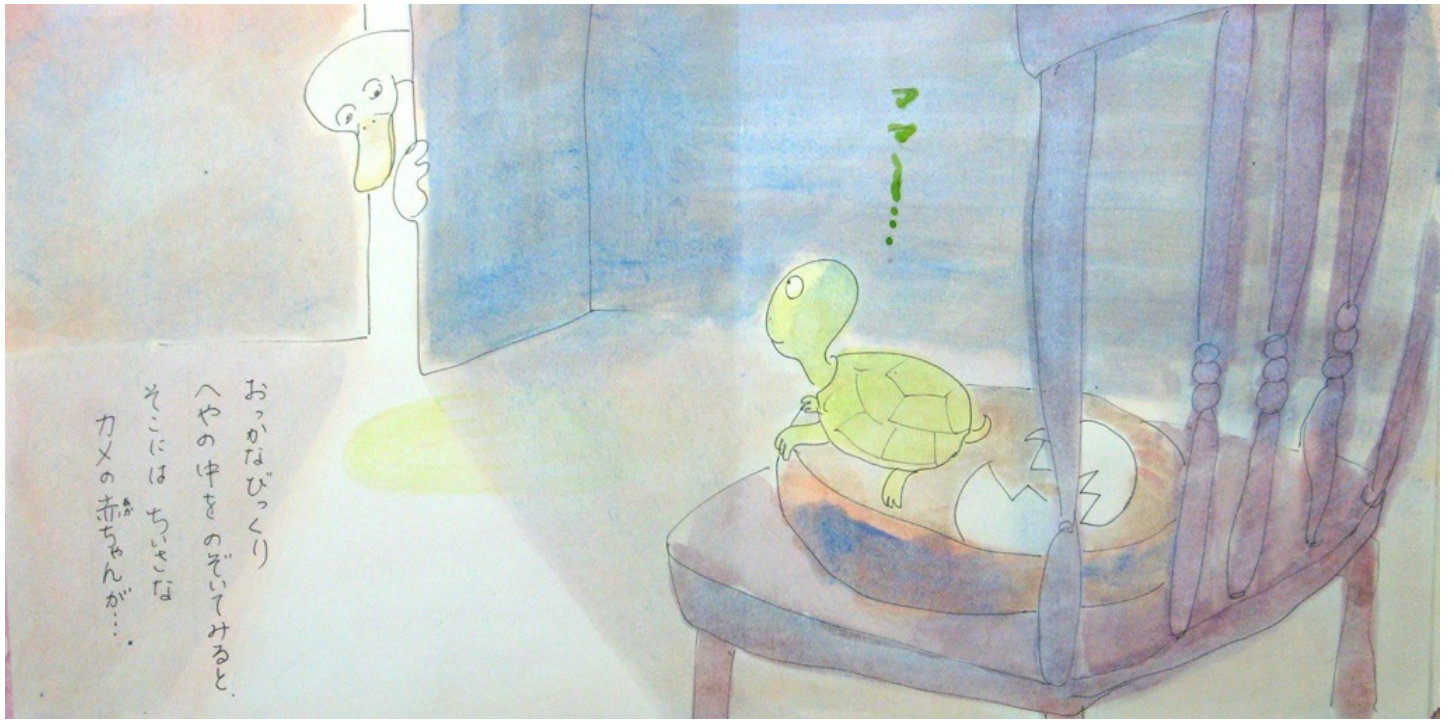


はいはいにうまれたのは  
かめいあひるのあめうちゃん  
よめったね  
おやおや—  
ふたつめのたまごが  
うまれたんだよ。



ふたつめのたまごから  
み、みどりのかおが!!





おっかなびっくり  
へやの中をのぞいてみると  
そこには ちいさな  
カメの赤ちゃんが...



何日かまぎに ある日のこと。

カラスの カンタくんが

木林のみんなにはなしていたよ。

『むつこの池であひるさんの親子が

なまよくおよいでいたよ。

かわった子どもも

いっしょだったよ。』

